

さわやか多中

多治見中学校

校報 No. 4

R 6. 7. 1

「わたしの主張2024」養正校区・滝呂校区大会 ～ 多治見市大会

6月8日(土) 養正校区<養正小学校>にて、5月25日(土) 滝呂校区<滝呂小学校>にて、「わたしの主張大会」が開催されました。多治見中学校からは、養正校区4名滝呂校区5名の生徒が発表しました。どの発表も自分の身近な疑問や問題について着目し、自分の主張したいことを堂々と発表していました。

また、「輝き隊」メンバーが会場設営や大会運営・進行を務めました。地域の中でも活躍する多中生の姿は、まさに「さわやか多中」そのものでした。

各校区から選出された さん、 さんは、6月15日(土) 多治見市大会でも堂々とした姿で発表し、その表現力は、他を圧倒するものでした。そして、見事多治見中2名ともが優秀賞を受賞しました。

【養正校区】 3年E組	さん「『命』と『人』の関わり方」
3年E組	さん「多様な世界」
3年C組	さん「自然な笑顔があふれる社会に」
3年B組	さん「快適に過ごせる世の中を」
【滝呂校区】 3年A組	さん「偏見を乗り越えて」
3年A組	さん「生物と人との共存に向かって」
3年A組	さん「日常へのありがとう」
3年B組	さん「話の輪を全員に」
3年A組	さん「あなたらしく。そして自分らしく」

いのちの授業 P T A 教育講演会 3年生 いのち伝え隊



助産師の村上さん・宮口さん(いのち伝え隊)をお招きし、いのちの授業を行いました。生と性について、実験もふまえながら深く学ぶことができました。以下は生徒たちの感想です。



「命」というものは当たり前ではないことが分かった。手紙を読んでみて、今、生きていだけでいいし、テストの点が悪くても、怒られても、今を頑張れていることがすごいということで、自分は今を大切に過ごしていきたいと改めて感じました。最初は、0.13mmから自分がスタートして、今こんなに大きくなっていることやスポーツなどがやれていることがどれだけすごいことなのか知れたので良かったです。ありがとうございました。

私は今まで”自分って何だろう” ”生きるって何だろう”と悩むことがありました。けれど、今回のお話を聞いて、”自分は堂々としていいんだ” ”生きる意味はまだこれから見つければいいんだ”と思いました。私には父がいまません。だから、お手紙、メッセージのコーナーの時、実際の出産シーンの時、父のことを思い出してすごく涙が出ました。反抗期の私。いつも母に反抗して、ぶつかったの繰り返しですが、今日、母に「産んでくれてありがとう」と伝えたいと思います。

性について私は今まで知らないことが多くてただただ言葉を聞いて笑っているだけだったので、今日、性について知ることができてよかったです。相手との同意をしっかりとる。自分だけの意見でやらない、ということこれから覚えておきたいです。

私は、母が助産師というのもあり、知っている情報が多かったのですが、実際にお産の映像を見たりして、母子とも

に命を懸けてがんばっていたり、助産師さんや医師さんもその命を守るためにがんばっていると改めて感じました。また、自分の命を守るため、相手の命を守るため、互いの気持ちを尊重しあい、対等な関係のパートナーシップをつくれるようにしたいと思いました。自分はまだ中学生だから、関係ないからで終わらず、いつかの日のために頭の片隅に置いておこうと思います。

私は、これまでに自分なんか・・・と思うことが多くありましたが、このたった一つの親からもらった大切な命を大事にし、自分らしくていい!!生きていくだけで充分!!と言ってもらえたことを思い出しながら、最後まで頑張っ生きていようと思いました。また、家に帰ったら親に感謝を伝え、母などと情報交換のように伝えたいと思います。2時間ありがとうございました。

多中生の活躍

岐阜県中学生卓球選手権大会市内大会5月3日

- <男子団体> Bゾーン ★優勝
- <女子団体> Aゾーン ★優勝
- <女子シングルス> ★優勝 準優勝

岐阜県中学生卓球選手権大会東濃大会5月18日

- <男子シングルス> ベスト16
- <女子シングルス> 4位 ベスト16

中部日本卓球選手権大会(カデットの部)6月1日

- <男子シングルス> 県予選通過本大会出場

第65回多治見市民スポーツ大会春季大会5月3日

準優勝 バスケ男子 Sun Jr. ボーイズ・準優勝 バスケ女子 Sun Jr. ガールズ

7月・8月の主な行事予定 【日程や実施方法が変更される可能性があります。】

<p><7月></p> <p>1日(月) あいさつで絆の日</p> <p>7/1(月)~8日(月) 三者懇談</p> <p>10日(水) 生徒集会 部活動ミーティング PTA高校見学会①</p> <p>11日(木) さわやか点検 PTA実行委員会④ 19:30</p> <p>15日(月) 海の日</p> <p>17日(水) 結団式 PTA高校見学会②</p> <p>18日(木) 大掃除</p> <p>19日(金) 夏休み前全校集会</p> <p style="text-align: center;">夏休み 7/21(日) ~ 8/27(火)</p> <p>※ 7月の学費等の引き落としは、10日(水)。</p>	<p><8月></p> <p>5日(月) 連合生徒会交流会</p> <p>6日(火)~16日(金) 学校休校日(教職員の勤務なし)</p> <p style="text-align: center;">11日(日) 山の日 12日(月) 振替休日</p> <p>18日(金) 中学生英語スピーチコンテスト(瑞浪文化)</p> <p>18日(日)~25日(日) エコボックス資源回収<学校駐車場></p> <p>22日(木)~29日(木) 期末テスト前部活停止期間</p> <p>28日(水) 夏休み明け全校集会&表彰、さわやか点検 (生徒会)選挙管理委員会</p> <p>29日(木) 期末テスト①</p> <p>30日(金) 期末テスト②、生徒会委員会</p> <p>※ 8月の学費等の引き落としは、13日(火)。</p>
--	---

ほめるとは 叱るとは 挑戦する勇気の火を灯すこと

親育ち4363たじみプラン事務局

「わが子に対しては叱ることの方が多くなってしまおう」そんな声を聞くことがあります。

「這えば立て立てば歩めの親心」という言葉があるように、わが子の成長を願う気持ちが強いほど、私たちの目は、その子が「今できていること」よりも「もっとできてほしいこと」に向くようです。そうして、期待を懸命に伝えようとします。それが「叱ることの方が多くなってしまおう」という意識につながるのでしょうか。しかし、これは、親としての愛情そのものであって、責められることでも、否定されることでもありません。

子どもたちは、日々、様々な姿を示します。その姿が、例えば10あるとします。その10の内には、「ほめたくなる姿」も「叱ったり注意したりしなければならぬ姿」もあるでしょう。それが10の内1、いや、100の内1であっても、「たまたま」に見えても、わが子の「ここがいいね」を見つけませんか。そして、叱るときも、ほめるときも、その1を心から信じ、伝え続けませんか。その子の心の中に、安心の、勇気の小さな火がともるでしょう。その火を支えに、自ら挑戦した経験の数だけ、子供達は成長します。

挑戦する勇気の火を、子供達の心に灯したい。ほめるとは、叱るとは、この願いを言葉で、その子の胸の奥深く届ける行為なのではないでしょうか。

(教育推進課 家庭教育担当)